この度は当社の工事現場用デジタルカメラ「TG-1 工一郎」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、「TG-1 工一郎」独自の機能と操作方法をまとめたものです。TG-1 取扱説明書とあわせてお読みいただくことで、さらに便利にお使いいただけます。
撮った写真を簡単に Windows フォルダに振り分ける「写真振り分け機能」をはじめとした、写真整理を楽にする機能が充実したソフトウェア「蔵衛門 御用達 12（以降）」（別売）と一緒に使用することで、「TG-1 工一郎」で使用できるメニューが拡張されます。
体験版は http://olympus-imaging.jp/product/construction/ より無料ダウンロード出来ます。是非一度お確かめください。

■ 重要なご案内　商品設計・保証に関する注意事項

以下の点につきまして、必ずご一読いただき、ご承諾の上でご使用ください。なお、カメラ本体を包装している袋に貼られた開封済みシールを剥がす、もしくは破いた時点で、以下の項目に同意していただいたものとします。

① カメラ本体は、汎用デジタルカメラとして開発・製造・販売しております。特定の使用目的のために、機械的性能が特別に考慮された製品ではありません。
② カメラに内蔵の GPS 機能および電子コンパス機能は、精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値（緯度経度、ランドマーク情報、方角など）に対して保証いたしません。
③ オリンパス保証規定に定められている保証を除き、本製品の使用または使用不能によって生じるいかなる損害（損失利益、作業の中断、作業、作業情報の損失、その他の時間的・金銭的損失等）も補償いたしません。

■ 工事現場トータルサポート保険の登録手続きについて（購入後 30 日以内）

工事現場トータルサポート保険（動産総合保険）は TG-1 工一郎**ご購入後30日以内に登録手続き（無料）が必要**となります。
ご登録が無い場合には、補償の対象となりませんので、ご注意ください。詳細は別紙の「工事現場トータルサポート保険（動産総合保険）登録のご案内（無料）」をご覧ください。

■ 主な同梱品

デジタルカメラ	TG-1 取扱説明書
TG-1 工一郎取扱説明書（本書）	保証書
保険登録のご案内	保険登録申込書
GPS 機能・電子コンパス機能説明書	
蔵衛門御用達優待販売ハガキ	リチウムイオン電池 (LI-90B)
USB-AC アダプタ (F-2AC)	USB ケーブル
AV ケーブル	シリコンカメラジャケット*
ストラップ	CD-ROM（OLYMPUS Setup）

*脱着方法は、シリコンカメラジャケットに添付の説明書をご覧ください。

■「TG-1 工一郎」の独自の機能について

日付設定忘れ防止

● カメラの日付と時刻が設定されていない場合には、カメラ電源 [OFF] 以外の操作を行うことができません。撮影の前に日付と時刻を設定してください。（TG-1 取扱説明書 P.19, P.54）

ご注意

● 設定できるのは日時のみです。地域、ワールドタイムは設定できません。

日時・地域・表示言語の設定について（TG-1 取扱説明書 P.19、P.54）

● 「TG-1 工一郎」は、日時のみ設定可能です。
● 地域 、ワールドタイム 、表示言語については、設定できません。

カード入れ忘れ警告

● メモリーカードをいれていない場合、撮影待機画面に表示される撮影可能枚数表示（TG-1 取扱説明書 P.4）が朱色で表示されます。

モードダイヤルを「P」または「SCN」* に合わせて使用することにより、工一郎の独自機能を使用する事が出来ます。他のモードでは独自機能の使用に制限がかかります。
撮影モードの内容については、TG-1 取扱説明書 P.28、P.29 を参照ください。
*「SCN」選択時、［階調］ は使用できません。

MENU ボタンを押すと、「TG-1 工一郎」の独自機能のうち、以下の機能の設定が行えます。
＜工事メニュー＞

フォルダ 写真振り分け	
ワンタッチ WB	
階調	標準
静止画録音	Off
簡単CALS	On
ファイル名編集	
オリジナル画像判定	On

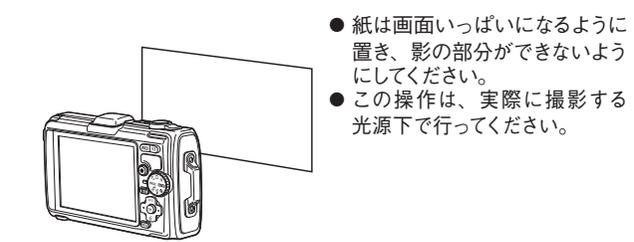
※上記メニューから、▷または OK ボタンで設定の操作が行えます。一部機能はファンクションメニューからも設定できます。
※以下のメニューを「TG-1 工一郎」では設定（選択）できません 。
暗部補正　フォトサーフィン　言語　ワールドタイム
管理情報生成

ワンタッチホワイトバランス（TG-1 取扱説明書 P.34）

ワンタッチホワイトバランスはオートホワイトバランスなどで調整しきれない微妙な色合いを設定します。撮影する光源で照らされた白い紙などにカメラを向けてホワイトバランスを測定することにより、実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。
ワンタッチホワイトバランスは 2 つまで登録できます。
［工事写真クリアモード 1］、［工事写真クリアモード 2］、［工事写真クリアモード 3］ などとあわせて使用すると効果的です。

1 △▽でファンクションメニューからホワイトバランスを選択します。
※撮影画面（ファンクションメニュー） からの操作方法を案内しています。

2 ◁▷でサブメニュー 2 の中の [ワンタッチ 1] (1) または [ワンタッチ 2] (2) を選択します。

3 カメラを白い紙などに向けます。

● 紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。
● この操作は、実際に撮影する光源下で行ってください。

4 MENU ボタンを押します。

● シャッターが切れて、ホワイトバランスが登録されます。
● 登録されたホワイトバランスは、プリセットホワイトバランスのひとつとして、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。
● 手順 2 で登録済みの番号を選択した場合は、新しいホワイトバランスが登録されます。

こんなときは

MENU ボタンを押したら［不適切なデータです　撮り直してください］と表示された

➜ 白い部分の面積が足りないとき、明るすぎるとき、暗すぎるとき、極端な色味がついているときは、ホワイトバランスは登録できません。再度、手順 2 からやり直してください。
または他のホワイトバランスに設定してください。

登録済みのワンタッチホワイトバランスに設定したい

➜ TG-1 取扱説明書 P.35 の [ホワイトバランス] で説明されている手順に従って、［ワンタッチ 1] または [ワンタッチ 2] を選択してください。

ご注意

● 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
● 登録の際は、あらかじめ SCN モードの選択やフラッシュの発光禁止の設定を済ませてから行ってください。
（登録時と撮影時の設定が異なると、撮影画像の色調が崩れる場合があります）
● ホワイトバランスの選択ができない撮影モードでは、ワンタッチホワイトバランスは使えません。

階調

階調機能を使用すると、画像の暗い部分を明るくなるように自動補正して撮影します。
（TG-1 取扱説明書 P.40 [暗部補正] に相当する機能です）

1 MENU ボタンを押し、△▽で [階調] を選択して、㊊ボタンを押します。

2 △▽で [標準] または [オート] を選択して、㊊ボタンを押します。
[標準] を選択した時は自動補正しません。

3 MENU ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

● 「測光」（TG-1 取扱説明書 P.41）で [スポット] を選択した場合、階調は [標準] に設定されます。また、階調を [オート] に設定している場合、「測光」を [スポット] に設定すると階調は [標準] に切り替わります。

静止画録音

1 MENU ボタンを押し、△▽で［静止画録音］を選択して、㊊ボタンを押します。

2 △▽で [ON] または [OFF] を選択して、㊊ボタンを押します。
[ON] の場合、撮影後、自動的に 4 秒間録音します。
（撮影メモとしてコメントなどを録音すると便利です）

ご注意

● 録音するときは、カメラのステレオマイク（TG-1 取扱説明書 P.3）を音源に向けてください。

簡単 CALS

● 簡単 CALS を [ON] にした場合、カメラ起動時に国土交通省デジタル写真管理情報基準などで推奨されている画像サイズ CALS [1280 × 960]、圧縮モード [ノーマル] に設定します。
（画像サイズについては TG-1 取扱説明書 P.36、P.71 を、圧縮モードは TG-1 取扱説明書 P.40、P.71 をご参照ください）
● 簡単 CALS を [OFF] にした場合は、カメラの電源を切る直前の画像サイズと圧縮モードに設定されます。

1 MENU ボタンを押し、△▽で［簡単 CALS］を選択して、㊊ボタンを押します。

2 △▽で [ON] または [OFF] を選択して、㊊ボタンを押します。

3 MENU ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

● 画像の圧縮率は、［圧縮モード］ を［ノーマル］ に設定したときは 1/8 に、［ファイン］ にしたときは 1/4 になります。
● 画像モードが [CALS] に設定されている場合でも、圧縮モードを［ファイン］ に設定したときは、画像のファイルサイズがご利用になる工事写真関係の基準・要領で定められたファイルサイズを超える可能性があります。

ファイル名編集

画像のファイル整理に便利なようにファイル名の一部を変更できます。

Ｐｍｄｄ９９９９.jpg
└──→ OFF、A ～ Z、0 ～ 9 に変更できます。

1 MENU ボタンを押し、△▽で [ファイル名編集] を選択して、㊊ボタンを押します。

2 △▽で 1 文字目を選択し、▷で 2 文字目に移動します。

3 同様の操作を 4 文字目まで繰り返し、最後に㊊ボタンを押します。

4 MENU ボタンを押して設定を終了します。

● 以降の撮影時で、ファイル名が設定した内容に変わります。
● ［OFF］ を選択した場合は、1 文字目が「P」、2 文字目は撮影月、3 文字目、4 文字目は日付になります。
（TG-1 取扱説明書 P.51）

オリジナル画像判定

撮影画像および撮影日時にたいする編集・加工の有無を判定する情報を撮影画像に付加します。ただし、カメラ上では編集・加工の有無を判定できません。編集加工の有無の判定は、当社の「オリジナル判定」機能に対応した Web サイトやソフトウェアを使用します。詳細や最新情報は工事写真関連サイト（http://olympus-imaging.jp/product/construction/）をご覧ください。

● Web サイト
オリジナル画像判定サービス「ガゾハン」（http://gazohan.jp/）にアクセスし、対象の画像をアップロードして判定を行います。一度に 20 枚の判定が可能です。
● ソフトウエア（「蔵衛門 御用達 Ver.9 以降」*）
画像をアルバムに取り込む時などに判定できます。
大量の画像を判定する場合に便利な方法です。
* 別売品となります。上記の対応するバージョンの情報は 2012 年 9 月現在のものです。

1 MENU ボタンを押し、［オリジナル画像判定］を選択して、㊊ボタンを押します。

2 △▽で [ON] または [OFF] を選択して㊊ボタンを押します。
[ON] を選択した場合は、画像の判定が可能になります。
[OFF] を選択した場合は画像の判定はできません。

3 MENU ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

- [ON] のときは連写の選択はできません。
- Windows Vista 及び Windows 7 では、画像を取り込む方法によってはデータの一部が書き換わるため、異なる判定結果が出る場合があります。オリジナル判定機能を利用する場合は下記の方法で画像を取り込んでください。

[取り込み方法]

1) USB 接続モードが [ストレージ] を選択されている事を確認します。(初期設定値は [ストレージ] です。USB 接続モードの確認および変更については、TG-1 取扱説明書 P.50 をご覧ください)
2) 付属のUSBケーブルを用いて、カメラをパソコンに接続します。
3) カメラがパソコンに「リムーバブルディスク」として認識されるので、「リムーバブルディスク」から画像をパソコンにコピーしてください。

※ 「Windows フォトギャラリーを使って画像を取り込む」など、上記の方法以外で画像を取り込んだ場合は、異なる判定結果が出ますのでご使用にならないでください。詳しくは当社サポートサイト（ http://www.olympus.co.jp/jp/support/cs/）をご覧ください。

SCN（シーン）モードについて（TG-1 取扱説明書 P.28）

「TG-1 工一郎」には、[工事写真クリアモード 1]、[工事写真クリアモード 2]、[工事写真クリアモード 3][屋内撮影][スローシャッター][資料モード] が搭載されています。撮影現場での状況にあわせて使用することで、簡単にクリアな画像が撮影できます。

次のような状況に便利です

- トンネルの坑道内など、ほこりが多く薄暗い場所や、屋外撮影時の降雨雪時。(フラッシュがほこりや雨に反射して、被写体が隠れてしまう場合)
- フラッシュ撮影したとき、黒板の文字やコンベックスの目盛りなどが白飛びしてしまう場合。

  [工事写真クリアモード1]、[工事写真クリアモード2]、[工事写真クリアモード3] を選択すると、フラッシュは [Ⓢ 発光禁止] になり、浮遊物の写り込みが少ない撮影が可能です。
  (ファンクションメニューに表示されません)
  また ISO 感度が自動的に高くなりますので、三脚を使わずに撮影できます。

- [工事写真クリアモード]　各モードの違い

項目	ISO 感度	TG-1 画質	注意事項
TG-1 取扱説明書	P.35	P.71	-----
工事写真 クリアモード 1	最大 1600	制限なし	・手ぶれを起こしてしまう場合は、工事写真クリアモード 2 を使用すると手ぶれが防げる場合があります。
工事写真 クリアモード 2	最大 3200		・ISO 感度が高くなり画像が粗くなるので、使用目的に適した画質になっているか、再生して確認してください。
工事写真 クリアモード 3	最大 1600 + 階調補正		・工事写真クリアモード1と比較して、暗い部分を明るく補正するので、明暗差の激しい現場に適します。 ・晴天の屋外など、明るい場所で撮影すると、画像全体が白っぽくなることがあります。

- 三脚を使った夜間の撮影時には [スローシャッター] の使用が便利です。あわせてセルフタイマーを使用（TG-1 取扱説明書 P.33）すると、シャッターボタンを押した時のカメラのぶれを防ぐことができます。
- [資料モード] は、A4 サイズや A3 サイズの資料や図面など印刷物の撮影に適したモードです。

ご注意

- [工事写真クリアモード1]、[工事写真クリアモード2]、[工事写真クリアモード3] では以下の機能を選択できません。

  フラッシュ　ISO 感度　階調

- 撮影時に壁に寄りかかるなど、体を固定するとぶれを防ぐことができます。
- [工事写真クリアモード2] で撮影しても手ぶれが発生する場合は、三脚を使用してください。
- [工事写真クリアモード1]、[工事写真クリアモード2]、[工事写真クリアモード3]、[スローシャッター]、[資料] はフラッシュが発光禁止になるので、光がまったく入らない場所では適した画像を撮影できません。フラッシュが発光するほかの SCN（シーン）モードを選択してください。
- TG-1 工一郎では、一般モデルの [夜景] と [キャンドル]、[文書] は搭載されていません。

写真振り分け（対応ソフトウェア利用時）

TG-1 工一郎で撮影した写真を、写真振り分け機能を使用して簡単に Windows フォルダに振り分ける事ができます。

写真振り分け機能を使用するためには、「振り分け情報」の作成時と撮影後の写真を Windows フォルダに振り分ける際に、写真振り分け機能に対応したソフトウエア（別売）を使用する必要があります。なお、対応ソフトウエアの操作方法については、各ソフトウエアのサポート窓口にお問い合わせください。

※2012年9月現在、対応ソフトウエアはNECソフト社の「蔵衛門 御用達12」となります。最新の情報は、工事写真関連サイト（http://olympus-imaging.jp/product/construction/）でご確認ください。

1　カードをパソコンにセットします。
蔵衛門御用達 12（または 12 以降）を起動し、[工一郎連携] の [写真振り分け情報作成] を選んで、フォルダ振り分け情報を設定します。

[SD カードへ振り分け情報を保存] を選択して、設定した振り分け情報をカード内に保存します。

（詳細は蔵衛門御用達のマニュアルまたはウェブサイト http://olympus-imaging.jp/product/construction/ をご覧ください）

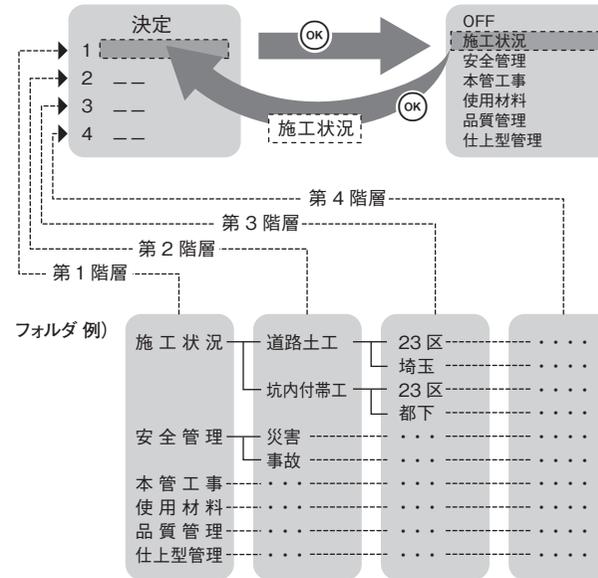
2　設定したカードを「TG-1 工一郎」に入れ、工一郎の電源を入れます。

3　MENU ボタンを押し、△▽で [写真振り分け] を選択して、㊀ボタンを押します。

（▷ボタンで [写真振り分け] へのショートカットになります）

4　△▽で [1] を選択して ㊀ボタンを押します。パソコンで設定した 1 階層目の情報（フォルダ）が表示されます。

△▽でフォルダを選び、㊀ボタンを押します。同様にして、2、3、4 階層目のフォルダを選択します。

※ 3、4 階層は将来の拡張予定機能です。（2012 年 9 月現在）

5　△▽で [決定] を選択して、㊀ボタンを押します。

決定した振り分け情報が、撮影する写真のデータに付与されます。

6　撮影後、カードをパソコンにセットします。蔵衛門御用達の [工一郎連携] から [写真をフォルダに振り分け] を選択します。画面の指示に従って操作することで、写真がパソコン内の指定した階層のフォルダへ自動で振り分けられます。

ご注意

- ご使用になられる対応ソフトウエアによって、設定できるフォルダの階層数や文字の種類が異なります。
- フォルダ名として使用できる文字は JIS 第 1 水準漢字、半角英数字、半角記号、全角ひらがな・カタカナ、半角カタカナ、一部の記号（JIS 漢字コード（JIS X 0208）のうち 1 ～ 2 区）のみとなります。
- 写真振り分け情報に TG-1 工一郎で表示不能な文字が使用されている場合は、その文字の部分が「空白」になります。ただし、パソコンに写真を取り込んだ際には、フォルダ名は設定された通りに表示されます。

  TG-1 で表示できない文字の例：
  ギリシア文字、ロシア文字、罫線記号、①②③などの丸文字、㊤㊦㈱㈲などの囲い文字、№．㏍．℡などの省略文字、㍻ ㍼ などの年号、㌔ ㍍ ㎞ ㎢などの単位記号、ⅠⅡⅢなどのローマ数字、機種依存文字など

罫線表示（TG-1 取扱説明書 P.24）

撮影情報表示を切り替えたときに表示される罫線は、25 分割で朱色の罫線になります。

ご注意

- 撮影情報表示で詳細表示を選択してもヒストグラムは表示されません。

AF 方式の初期設定（TG-1 取扱説明書 P.40）

- AF 方式の初期設定は撮影画面中央部の AF ターゲット内の被写体にピントを合わせる [スポット] になります。
- ピントを合わせたい被写体が画面中央部にない場合は、TG-1 取扱説明書 P.66、P.22 をご覧ください。

SD WORM カードについて

TG-1 工一郎では、TG-1 で使用できるカード（TG-1 取扱説明書 P.70）のほかに、SD WORM カードを使用することもできます。

SD WORM カード（Sandisk©SD™WORM card）とは、1 度書き込みを行った後では、データの削除・上書き・変更が不可能になる記録カードです。

ご注意

- ご使用の際は SD WORM カードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に準拠してご使用ください。
- SD WORM カードを使用する際は以下の機能が使えなくなります。

	TG-1 取扱説明書
連写	P.36
動画	P.22
編集	P.46　P.47
消去	P.26　P.48
プリント予約	P.62
プロテクト	P.48
アップロード予約	P.48
内蔵メモリ初期化 / カード初期化	P.49
データコピー	P.49
EyeFi 送信	P.49
ファイル名メモリー	P.51
GPS 設定 *	P.58

*GPS 機能のうち、ロガー機能を使用する事ができません。

- SD WORM カード使用時、使用メモリ表示の色が赤（朱）白逆になります。